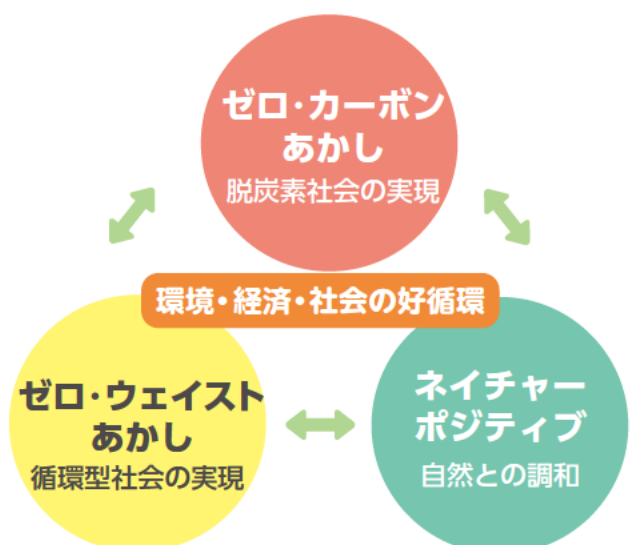


6月は環境月間 未来のあかしのために 今できることを一緒に

「SDGs 未来安心都市・明石」を掲げる明石市は、安心して暮らせる環境を未来につなぐため、あかしサステナブルスリーとして3つの柱を設定し、取り組みを進めています。

未来のあかしのために、一緒にできることから始めてみませんか。
お問い合わせ/環境総務課 (TEL 918-5029 FAX 918-5586)

あかしサステナブルスリー



「生物多様性あかし戦略2026」ができました

「水とみどりをつなぐ あかしネイチャーポジティブ宣言」(2026年1月18日表明)の方針を推進するため、市の戦略を改定しました。



詳しくはこちら▶

2027年3月1日から 指定ごみ袋制度が始まります

明石市内でごみを出す時のごみ袋のルールが変わります。

ごみ袋の新しいルール

- もやすごみ → 指定ごみ袋
- もえないごみ → 無色(半)透明のごみ袋
- 缶・びん・ペットボトル

指定ごみ袋までの移行期間 9月1日~2027年2月28日

この期間内に、現在使用しているごみ袋から指定ごみ袋への切り替えをお願いします。
※2027年3月以降、ブルー系のごみ袋は使えなくなります



詳しくはこちら

お問い合わせ/資源循環課 (TEL 918-5794 FAX 918-5793)

みんなではじめよう!

フィルターを清掃する
風の通りが良くなり消費電力を削減

使っていない部屋の電気はこまめに消そう

エコドライブを心がけよう
ふんわりアクセル アイドリングストップなど

マイボトルやマイバッグをしよう

ごみを分別しよう
ごみの分別

食べきって食品ロスを減らそう

見つけたら駆除してほしい

開花期 5~7月

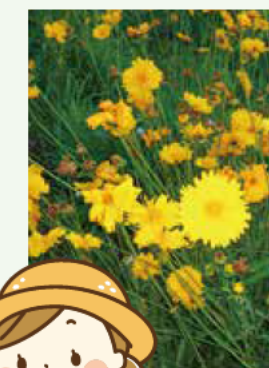
オオキンケイギクは 特定外来生物です

道ばたやのり面、空地など、日当たりの良いところに群生しています。繁殖力が強いので、日本に昔からある植物を駆逐してしまいます。

駆除の方法

根から引き抜き、種子を落とさないように袋に入れ、枯らした後に、もやすごみとして出してください。

持ち帰りは禁止



『あかしサステナブルスリー』でみんなで作る やさしいまち

ゼロ・カーボンあかし

2050年までに二酸化炭素(CO2)をはじめとする温室効果ガスの排出量を吸収量に近づけて、実質ゼロにする取り組み

脱炭素経営を応援!

「脱炭素経営宣言」をしていただいた企業へ、産官学で構成するさまざまな強みを持ったサポーターと市が連携して脱炭素経営を伴走支援します。

サポーターも どんどん増加中!

あかし脱炭素経営 パワーアップ制度

100社以上が 脱炭素経営を宣言



サポーターの日新信用金庫の皆さん

二酸化炭素(CO2)を資源として循環

NEW!!

アサヒ飲料×明石市 6月1日~

循環型かつ脱炭素社会の実現に向けて、二酸化炭素(CO2)を吸収する素材を搭載した自動販売機を松江公園と大蔵海岸公園に設置します。

お問い合わせ/産官学共創課 (TEL 918-5335 FAX 918-5101)



防犯カメラを搭載し 見守り機能も

家庭用太陽光発電設備・蓄電池の導入を補助

市内の住宅に太陽光発電設備や蓄電池を設置した人へ補助を予定しています。

※新築住宅は対象外

詳しくは次回6月15日号掲載予定

ゼロ・ウェイストあかし

循環型社会の実現のため、ごみの発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)を進めていく取り組み

ハブラシリサイクル

使用済みハブラシを遊具用ブロックなどの新たなプラスチック製品に再生

16,404本回収 (2025年度)



小学校への出張授業



再生ブロックは 子育て支援センターに



回収拠点など 詳しくはこちら

揚げものの油

揚げものの油でテイクオフ! (Fry to Fly Projectへ参加)

39,247kg回収 (2025年度)



植物性廃食用油(サラダ油、オリーブオイル、こめ油など)から持続可能な航空燃料(SAF)を精製し、航空機を飛ばすための燃料として活用



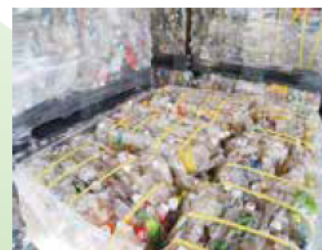
廃食用油を使った 飛行機がテイクオフ



回収拠点など 詳しくはこちら

ペットボトル

約213kg回収 (2025年度)



使用済みペットボトルを回収・リサイクル処理し、新たなペットボトルとして再生



詳しくはこちら

ネイチャーポジティブ

自然や生物多様性の損失に歯止めをかけ、環境にとってポジティブ(プラス)の状態にしていく取り組み

海の豊かさを取り戻す

明石ではタイ・ノリなどの海のめぐみを身近に感じることができます。地域の魅力につながる資源を次世代につないでいくため、魚介類を育て、増やす取り組みを進めています。



海への栄養補給

発酵鶏ふんを主とする有機肥料を漁場へ投入(施肥)することで、漁場環境改善や資源回復を支援

アマモ場の再生活動

魚介類の産卵場・隠れ場・えさ場などになる「海のゆりかご」といわれるアマモ場の再生を支援



アマモ場

自然を守るための人材を育てる



学校での環境体験学習や企業・地域などとの連携を通じて、未来を担う人材の育成に取り組んでいます。

5/17 ネイチャーツアー 海岸編 @望海浜 明石市 × 神戸市

海浜植物の観察、 外来植物の駆除も

